



機械工学科



電気電子工学科



電子情報工学科



物質工学科



環境都市工学科

No.215

平成30年3月19日発行

## 目 次

1. 卒業生・修了生に贈る言葉	2
校長	2
教育後援会会长・進和会会长	3
2. 卒業生クラス紹介	4~8
3. 修了生クラス紹介	9~10
4. 学生の将来と進路	11~12
5. 活躍する仲間	
平成29年度優秀学生賞	13
平成29年度 福井高専キャンパスプロジェクト概要	14~16
6. 研修旅行について	17~19
7. 校外研修について	19~20
8. 遠足について	21
9. 中学生の皆さんへ・退職にあたって	
中学校だより 福井市森田中学校	22
退職にあたって	22~23
10. 学園通信	
平成29年度福井工業高等専門学校卓越した学生	
及び学生表彰受賞者	24
平成30年度教育後援会総会	25

## 卒業生・修了生に贈る言葉



### 卒業・修了おめでとう

校長 松田 理

卒業ならびに修了を迎える本科170名、専攻科24名の皆さん、おめでとうございます。本校教職員、在校生を代表して心からお祝いを申し上げます。また、この卒業生の中にはマレーシアから2人、インドネシアから1人の留学生が含まれています。三年生からの学びでしたが、貴重な経験になったことでしょう。

さて、昨年12月に経済産業省で「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」が行われ、「人生100年時代の社会人基礎力」について検討されました。社会人基礎力は、既に10年ほど前から提唱されているのですが、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」と定義されます。具体的には「前に踏み出す力」、「考え方抜く力」、「チームで働く力」の3つで、皆さんがこれから基礎学力や専門知識を活かして活躍していくために必要なものです。失敗しても粘り強く、当たり前と言われることにも疑問を持って考える。そして様々な価値観を持つ人々とも協調して進めることができます。言い換えれば、皆さんが本校で多くの体験型学習や課外活動等を通して、その基本を身につけてきた非認知能力と言えます。是非、これからは新たな領域にも自信を持って挑んで欲しいと思います。カナダの生理学者ハンス・セリエによれば、適度なストレスを感じているときこそ、最も力を発揮することが出来るそうです。ストレスの影響は心の持ちようで変わると思いますが、不快なものと捉えず絶えず挑戦する習慣をつけて下さい。

また、これからは人工知能やIoT、ビッグデータなどを利用する第4次産業革命の波により技術革新が加速し、人々の暮らしの中に良くも悪くもその影響が現れてきます。そして、否が応でも個々人の価値観が変わり、次第に人間性も変化していくと考えられます。それゆえ、技術者はその変化に気づき、柔軟に対応できるように感性を研ぎますことが必

要になってきます。つまり、次世代のものづくりには、人に対する配慮や優しさが不可欠となり、人間力と創造力を備えた感性豊かな人材が求められます。しかも、ものづくりは一人ではできません。チームやグループ、また組織の繋がりで可能となり、作られたものは社会から評価を受けることになります。従って、想定外の問題であっても自分の意見をしっかりと持ち、世代を超えて意見を交わし、広く交友することで解決の糸口が見つかるように考えます。また、そのことで多様な価値観に触れることになり、自身の成長と確かな人間関係を築くことにもなるでしょう。

また、現代の社会には大量の情報が溢れています。しかし、発信者に都合の良い情報や根拠のない不確かな情報、またネット上で勝手に選別され偏った情報など、真に確かな情報とそうでない情報が混在しています。従って、真実が見え難く翻弄され、場合によっては人間社会が対立・分断されることもあります。時には「常識」あるいは「当然」と言われることも無い、眞偽・是非を見抜く心眼を開いて下さい。

物理学者であり文学者でもある寺田寅彦は、経験を積み知識を蓄えるうちに偏見に陥り易くなり、それが革新的な発想を妨げてしまう危険性があると警鐘を鳴らしています。つまり、初心に返り素直な心で物事を見ることが本質を見抜く上で重要だということです。是非、心に留めておいてください。

いずれにせよ、しっかりと地に足をつけ、眼力を磨き、胆力を練って、軽佻浮薄なことには惑わされないようにしてください。そして、福井高専の卒業生、修了生であることに自信と誇りを持って、夢の実現に邁進して下さい。

## 卒業生・修了生に贈る言葉



### ディセントであること

教育後援会会長

友 広 家 延

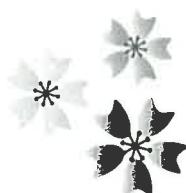
卒業ならびに修了を迎える本科および専攻科の皆様おめでとうございます。教育後援会を代表して心からお祝い申し上げます。

この新たな門出の時を迎える皆さんの胸中には、言葉にはあらわしがたい数々の思い出が去来していることだと思います。そうした思い出が、皆さんのがこれまでに培った専門知識や能力と同じように、これからの方々の人生を永く励ましていく財産となるよう願ってやみません。

皆さん方がこれから向かう新しい環境には、多分これまでの価値観とは微妙に異なったルールが待ち構えています。加えて皆さん方は若いということだけでも、私たちの時代よりも遙かに大きい役割を期待される存在となります。多分その期待の大きさに皆さん方はプレッシャーを感じないわけにはいかないでしょう。こうした、どう振舞ってよいのかわからない環境に巻き込まれた時の心構えとして、ある本の中から次のような言葉を見つけました。それは「ディセント（礼儀正しく）であること」です。

すこし躊躇した忠告のようにも捉えられますが、自分にとって不条理な状況に陥ったとき、排除の論理でなく、否定の言葉でなく、礼儀正しく対象に接することが、ひいては自分にとって少なくない福音をもたらしてくれるということです。

科学的であることを信奉される皆さんに送る言葉としては、ちょっとそぐわないかもしれません、高度な専門知識と高い技能という矛の傍らに、礼節という盾をもって、これから社会で活躍されることを期待しています。がんばってください。



### 未来への想い

進和会会长

野 嶋 祐 記

卒業並びに修了を迎える本科及び専攻科の皆様、おめでとうございます。進和会を代表して心からお祝い申し上げます。

皆さん方は、中学卒業後には技術者としての道を選択され、高専で創造的技術者としての基本を習得されたことだと思います。社会へ出る人、専攻科や大学院へ進む人、それぞれの立場で大いに活躍してください。

就職される方は、社会人となり立場や責任は今までとは大きく異なります。「おとな」としての判断や対応を求められます。今までの学んだ知識は一生の宝ですから、これからも技術者としての研鑽を重ねて職場で貢献してください。

進学される方は、更に専門的な知識を習得してふるさと福井のみならず日本の発展に貢献する気概を持って勉学に励んでください。

そして、皆さん方の周りには約7,000人の先輩が全国で活躍しています。悩んだ時には、先輩や仲間に相談してください。そして常に「未来への想い」を持って強い人になってください。最後に先日勇気がでる詩を見つけたので紹介します。

失敗したとき。

先が見えなくなったとき。

どんな人にも、きつい時期はある。

でも、

傷は、癒えれば丈夫になる。

不安は、乗り越えれば自信に変わる。

欠点だって、磨けば個性になる。

逆境を乗り越え、

そこから這い上がろうとするエネルギーこそ、本当の強さなんだ。

#### 【連絡先】

〒916-0064

福井県鯖江市下司町 福井高専進和会事務局

TEL 0778-62-1111 FAX 0778-62-2597

## 卒業生クラス紹介

## 機械工学科



## 見えないチカラ

機械工学科5年担任 金田直人

「高専」という特殊な高等教育機関に入学してから数年間が経ち、新たな気持で今日を迎えていることでしょう、高専生活はどうでしたか？

私自身も高専の卒業生であり、卒業という一つの節目は今も記憶に残っています。私が卒業から15年ほど経とうとしていますが、今の私の基盤となっているのは、間違いなく高専生活で得たモノといえます。中学卒業後、工学という分野に興味を持って高専に入学をし、専門分野を学びながら痛感したモノづくりへの大事な考え方、体育祭・高専祭・寮祭・クラブ活動等で培った人間関係、そして苦楽を共にした仲間等、今でも私の大切な財産です。

皆さんにも、これまでの高専生活で得た財産は必ずあると思います。人生まだまだ始まったばかりですが、高専という人生の過程を忘れないで下さい。時には高専生活を振り返ってみると、きっと見えないチカラとして支えてくれることでしょう。これからのご活躍を陰ながら祈念しています。

卒業おめでとう！

## 高専での5年間

機械工学科5年 富田大樹

いま卒業するとなって考えると高専での5年間は、本当にあつという間の日々だった。新しい友達、新しい環境に胸を膨らませ入学式に臨んだことが鮮明に思い起こされる。また同時に大きな不安を抱いていた。

1年生では、他学科と合同クラスで共に勉強に励んだ。私は寮での生活だったので他学科との交流も多く幅広い交友関係を築くことが出来た。今でも1年生の頃の友達はかけがえのないものとなっている。

2年生からは、機械工学科だけとなり男臭いクラスになった。あと4年間はこのクラスなんだとがっかりしたことを覚えている。段々学年が上がるごとにテストも難しくなり、留年する人も増え仲間が減っていくことが悲しく、そこで自分も頑張らないと、気持ちを切り替えて次の学年へとステップアップしていった。また、多くの行事に参加することでたくさんの先輩、後輩と関わることができ有意義な学生生活を過ごすことが出来た。

私は、この5年間で多くの事を学びましたがなんだかんだで大事なのは、ともに切磋琢磨し励ましあえる仲間を作る事それが一番大事なことだと感じた。



## 卒業生クラス紹介

### 電気電子工学科



#### 本分を尽くす

電気電子工学科5年担任 大久保 茂

次の文章を読み、間に答えなさい。ただし、全問答えられれば卒業です。

福井工業高等専門学校の学則に従い、学生としての本分を尽くすことを誓います。

問1. 福井工業高等専門学校はどのような学校でしたか。

問2. 学則を知っていましたか。

問3. 学則に従い行動しましたか。

問4. 学生の本分とは何でしたか。

問5. この5年間、学生の本分を尽くしましたか。

この文章は、5年前体育館で行われた入学式直後、教室で署名した宣誓文です。これを見て心を痛める学生は少なくないと思いますが、実社会では、学生と違って大人(成年者)として扱われます。そのため、言動や署名には大きな責任が伴うので、より慎重な行動が求められます。今後、皆さんは卒業して各分野で活躍されると思いますが、日本国憲法に従い、国民としての本分を尽くし、さらには国際連合憲章に従い、人間としての本分を尽くす立派な人物になられるることを切に願っています。

#### 成長と卒業

電気電子工学科5年 発 坂 阜 行

福井高専に入学して5年の月日が経ち、私たちは卒業を迎えるとしています。この5年間で私たちはたくさんの知識を身に着け、人間的に大きく成長できました。

2年生になって今のクラスの仲間と出会った頃、みんなの顔も性格も全然知らなかったけど、学校生活を経て、みんな個性的で楽しい人達だとわかりました。はじめは、たくさんの問題を起こしていろんな人に迷惑を掛けましたが、進級して進路について考えるようになり次第に落ち着きのあるクラスになったと思います。今のクラスは2年生の頃よりも人数が減ってしまったけど、私は今の仲間とともに卒業できることがとてもうれしく思います。進路はみんな違うけど、高専で学んだことを活かして厳しい社会の荒波を乗り越えていきましょう。専攻科・大学に進学する人は、さらに勉強を頑張ってください。

最後に、5年間私たちの面倒を見てください、またお世話いただいた福井高専の教職員の皆様、今までありがとうございました。

## 卒業生クラス紹介

## 電子情報工学科



## 卒業おめでとうございます

電子情報工学科5年担任 高 久 有 一

福井高専に入学してきた日のことを覚えていますか。あれから5年の月日が流れ、大きく成長した君たちが卒業することを、大変うれしく思います。そして、君たちを支えてくれた保護者の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。

今の君たちから見たら、1年生はとても幼く見えると思いますが、彼らは5年前の君たちです。この5年間に、福井高専で学んだこと、経験したことを振り返ってみると、いかに自分が大人になったかに気が付くと思います。

しかし、福井高専を卒業した後のこれからが、本当の意味でのチャレンジのスタートです。今まで得た知識や経験を活かし、仕事に、研究に、自分の考えで行動することが多くなると思います。チャレンジをすれば必ず失敗もしますが、そこからたくさんの事を学んでください。本校を卒業した君たちなら、それを糧にして、更なる成長が出来ると信じています。

君たちの将来に期待しAINシュタインの言葉を贈ります。

"Anyone who has never made a mistake has never tried anything new." Albert Einstein

## 五年間

電子情報工学科5年 野 村 弘 樹

入学してから5年という月日が流れ、私たちは福井高専を卒業します。5年と聞くと長いように感じますが、実際にはそんなことありませんでした。各学年で色々なことがあります、そのどれもが今ではいい思い出となっています。

このクラスには、個性豊かな人たちが揃っています。みんなで助け合って、ここまでこれたと思います。そう考えると、とてもいいクラスだったと改めて感じました。

私たちは「高専」という普通高校とは違うところに、自ら身を投じてきました。入学する前とした後では、180°見方や考え方方が変わりました。この5年間で得られた知識や経験したことは、何にも変えられないものだと思います。これらを活かしていくような人となって活躍していきたいと思います！

本当に今までありがとうございました！



## 物質工学科

## 卒業生クラス紹介



### 「知的好奇心と挑戦する心を持ち続けよう」

物質工学科5年担任 西野 純一

御卒業おめでとうございます。高専を卒業しても皆さんには、まだ知らないことや経験したことが無いことがたくさんあると思います。最近、皆さんは、好奇心が乏しくなっていませんか。それとも、知識が増えた分だけ新たな知的好奇心が生まれてきていますか。何れにせよ、卒業後も自然科学や人文科学に対する知的好奇心を持ち続けてください。さらに、人にも好奇心を持って接し、人脈を広げてください。また、どんどん失敗して、どんどん先に進んで行ってください。「この世の中はやっちまった者の勝ち」です。手をこまねいていてはいけません。将来のことがわからず不安があるでしょうが、未来に立ち向かう勇気を持ってください。積極的に挑戦してください。ただ「ボー」としているだけでは、他人に先を越され奪われるだけで、得るものは何もなくなります。今しかできないことを精一杯やり続けてください。そして、知的好奇心に満ちた挑戦の日々を送り悔いの残らない人生を過ごしてください。

### 卒業を迎えて

物質工学科5年 宇野 七聖

入学してから早5年がたち、いよいよ卒業の時がきました。私のクラスは、36人中女子が22人と高専としては異例の女子が多いクラスです。最初は女子は女子、男子は男子で固まり、男女の仲があまり良くなかったのですが、高専祭、修学旅行、体育祭などの行事を通じ仲が深まっていきました。特に体育祭では、ぶつかり合うこともありましたが、最後は白組全員が一丸となり総合優勝することが出来ました。夏は海水浴に行ったり、冬には雪合戦をして遊んだのもいい思い出です。1年生から2年生に上がるときは上手くやっていけるかとても不安でしたが、今ではこのクラスでよかったと心から思います。

福井高専で過ごした5年間は楽しかったことばかりではなく、大変なこともたくさんありました。しかし、その全てが自分を成長させてくれたと思います。先生方をはじめ、高専で出会えた人達に感謝し、これからも新しい場所で頑張っていきます。5年間、本当に有り難うございました。

## 卒業生クラス紹介

## 環境都市工学科



## 環境都市工学科21期 卒業生への贈る言葉

環境都市工学科5年担任 田 安 正 茂

平成30年3月をもって、環境都市工学科21期のみなさんは、福井工業高等専門学校を卒業することとなりました。おめでとうございます。

卒業するみなさんを様々な場面で支えてくださった方々に、心より感謝致します。卒業するみなさんも、これまで支えてくださった方々にお礼の言葉をしっかり伝えてください。

4月からは新たな環境に身を置き、自分の立ち位置を構築していかなければなりません。不安に感じることも多いと思いますが「案ずるよりも産むが易し」の言葉のとおり、今は不安に感じていても、新たな環境で日々の仕事に対して真摯に取り組むことができれば、自ずと自分の立ち位置ができるがっていくものです。

みなさんが福井高専の学生として過ごしてきた時間は、今後の人生をより豊にするためのかけがえのないものでした。高専の授業で学んだことだけでなく、高専生活で培った力を信じて、これから的人生を楽しく一生懸命進んでいってください。

## 正しさで消耗した人へ

環境都市工学科5年 辻 祥 平

卒業するに当たり、私はこの5年間を顧みて、「はたして高専での選択は正しかったのかな」と常々考えています。しかしここで少し困ったことがあります。それは正しさの基準が難しいことです。例えば、研修旅行について。あのときの研修場所は先生に決めてもらって良かったのかな。はたまた自分たちで決めたほうが良かったのかな。こんなことをみんなが寝静まるまで考えあぐねてしまいます。みなさんはどうですか。ついつい正しさを求めすぎて、消耗していませんか。

そんなこんなで私は「感謝」という基準を新しく設けたのでみんなと共有したいです。これは選択したこと自分がどれだけ感謝できるかという基準です。あのときの選択で今の自分がいる、ありがとうございますと言えたら満点です。

さて、みなさんはどんな基準で選択していますか。少し疲れたなどと思う人は後の自分がどれだけ感謝してくれるかなと考えて、選択してみてください。きっといつもより、晴れ晴れした日常を送れますよ。

## 修了生クラス紹介

### 生産システム工学専攻



#### トピタテ！修了生！

生産システム工学専攻主任 西 仁 司

みなさんが専攻科で過ごした2年間を振り返って特徴的なことは、海外インターンシップに参加した学生が非常に多かったことです。昨年度、合計7名もの学生がマレーシア、フィリピン、台湾の各地域でインターンシップを行いました。私もそのうち1つの実習先を訪問し、活動の様子を確認しましたが、話す言葉や文化の異なる場所で、学生さんがたくましく実習を行っている姿がとても印象的でした。そこで経験は、これから的人生で大きな力となるでしょう。

そのうち何人かの学生さんには、下級生に海外インターンシップの面白さをプレゼンテーションしてもらいました。それを聞いた後輩が、今年度も海外インターンシップを行っています。そして、この流れがこれからも続いていくことを期待しています。

これからは、グローバルな視点を持った活動がますます重要になっていきます。海外インターンシップへ参加している、いないにかかわらず、すべての修了生の皆さんのがグローバルな視点を持ってご活躍されることを期待いたします。

#### 専攻科を修了して

生産システム工学専攻2年 水 野 優

福井高専に入學して早7年が経ちました。入学した当時は5年間長いな、なんてことを考えていたように思います。そして本科卒業後は専攻科へと進学し、さらに2年間勉強するなど思ってもいませんでした。大変なこともありましたが、それ以上に友人達や先生方と過ごした7年間はとても楽しい思い出ばかりです。

専攻科の授業はグループワークが特に多かったと思います。互いに違う知識・経験をもつ他学科の学生と一つの課題に取組むことはとても刺激的で、社会人になってからもきっと役立つ経験になったと思います。また、専攻科での生活を通して、本科の時にはまだぼんやりとしていた将来目標とするエンジニア像がより鮮明に描けるようになりました。

福井高専で過ごした7年間、教員や職員の方々、友人達には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。福井高専で得た知識と経験を活かして、目標に近づくために努力を続けていきたいと思います。

## 修了生クラス紹介

### 環境システム工学専攻



#### 君たちの世代だからこそできることに期待

環境システム工学専攻主任 吉田 雅穂

専攻科修了、おめでとうございます。

君たちは2002年に小学校に入学し、完全学校週5日制や総合的な学習の時間、いわゆるゆとり教育を小学1年生から経験してきた世代です。これまで、このことで色々なことを感じていたかもしれません、この16年間の学校生活で他の世代とは異なる経験をし、生きる力と主体的な思考力を育み、この専攻科でそれを結実しました。

イノベーションを生み出すには多様性が必要です。君たちならではの個性を社会で発揮してブレイクスルーを起こしてください。福井国体や東京オリンピックが終わった後の福井、そして日本を魅力的にすることに是非、貢献してください。私が担当した創造デザイン演習や海外インターンシップで君たちの力は確認済みですので、あとは就職先や進学先でそれを実践してください。専攻主任として、そして、君たちと同世代の子供を持つ親として今後の活躍を期待しています。

#### 高専生活を振り返って

環境システム工学専攻2年 廣部 紗乃

高専に入学してから7年が過ぎました。研修旅行や体育祭、レポートや研究に追われた日々。楽しいこともつらいこともあります。そのひとつひとつがかけがえのない思い出です。

専攻科に入学してからの2年間はとてもはやく過ぎていきました。女子学生は私を含めて3人しかおらず、本科の時にはほとんど交流の無かった他学科の人がたくさんいる中でやっていけるのかと不安を感じました。専攻科では専門分野の授業はあまりなく、グループで作業をする機会が多くありました。このことから他学科の人たちともすぐに打ち解けることができました。また、これまでとは違う、様々な方向から物事を考えることの重要さを感じました。

高専での生活はとても充実していました。優しく丁寧に指導してくださる先生方と出会えたこと、多くの経験ができたこと、そしてなにより親しい友人ができたことは私にとって一生の財産です。本当にありがとうございました。

## 学生の将来と進路

### 平成29年度 進路内定状況報告

近年、就職活動の解禁時期が変動しています。まず、平成27年度に、それまで12月だった広報活動の解禁が3月に、4月だった採用活動の解禁が8月に変わり、大きな混乱が生じました。翌平成28年度は採用活動の解禁が6月に改められましたが、混乱が続きました。平成29年度は、平成28年度と変わらなかつたため、多少、落ち着いたように思います。実際の就職活動では、このような解禁時期の変動に関わらず、平成26年度以前と同様の早い時期から、情報収集と試験対策を行うことが不可欠でした。

平成29年度の本校への求人数は5,204社であり、平成28年度と比較して1.42倍の増加となりました。福井県内の企業からの求人数も584社（平成28年度比1.45倍）と大幅に増えています。このような求人の急激な増加は、慢性的な人手不足に加えて、国際的に活躍できる実践力を備えた高専生に対する高い評価が影響していると考えられます。

キャリア支援室長 芳賀 正和

平成29年度の就職希望者の割合は、昨年度よりも若干増加し、本科卒業生で63.8%、専攻科修了生では70.8%です。また、本科の進学希望者の内訳は、専攻科への進学が21名、大学編入学が38名となっています。一方、大学院に進学する専攻科修了生は7名で、大学院進学を目指して専攻科に入学する学生が増えています。

多くの企業や大学が求めていることは、基礎学力、コミュニケーション能力、それから課題解決能力です。普段から、周囲との連携を取りながら、必要な行動は何かを自分で考えて行動する意識を持ちましょう。

最後に、本校のキャリア教育にご尽力いただいている関係教職員および保護者の皆様に、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 平成29年度 進路内定状況

平成30年2月9日現在

学科	区分	卒業・修了予定者数	進学希望者数	内定者数			未定者数	就職希望者数	内定者数		未定者数	その他
				大学・大学院	専攻科	その他進学			県内	県外		
本科	機械工学科	33 (2)	11 (1)	6	5(1)		0	22 (1)	4 (1)	18	0	0
	電気電子工学科	30 (2)	11	5	4	1	1	18 (2)	5	13 (2)	0	1
	電子情報工学科	37 (8)	15 (1)	11	4(1)		0	21 (7)	11 (2)	10 (5)	0	1
	物質工学科	36 (22)	10 (4)	9(4)	1		0	26 (18)	6 (4)	20 (14)	0	0
	環境都市工学科	38 (11)	14 (4)	7(2)	7(2)		0	24 (7)	12 (3)	11 (4)	1	0
	小計	174 (45)	61(10)	38(6)	21(4)	1	1	111 (35)	38 (10)	72 (25)	1	2
専攻科	生産システム工学専攻	12	3	3			0	9	4	5	0	0
	環境システム工学専攻	12 (3)	4 (2)	4(2)			0	8 (1)	7 (1)	1	0	0
	小計	24 (3)	7 (2)	7(2)			0	17 (1)	11 (1)	6	0	0
合計		198 (48)	68(12)	45(8)	21(4)	1	1	128 (36)	49 (11)	78 (25)	1	2

※表中の( )は女子数で内数





## 活躍する仲間

### 平成29年度 優秀学生賞



日本機械学会富山賞  
機械工学科5年  
**蓋本 恭多**



公益社団法人 計測自動制御学会北陸支部  
優秀学生賞  
機械工学科5年  
**小濱 真宏**



電気学会北陸支部  
優秀学生賞  
電気電子工学科5年  
**發坂 順行**



公益社団法人 日本電気技術者協会北陸支部  
優良卒業生  
電気電子工学科5年  
**田中 涼太**



一般社団法人 映像情報メディア学会北陸支部  
優秀学生賞  
電気電子工学科5年  
**高山 早紀**



電子情報通信学会北陸支部  
優秀学生賞  
電子情報工学科5年  
**井口 昇之**



情報処理学会北陸支部  
優秀学生賞  
電子情報工学科5年  
**大柳 慶悟**



公益社団法人 日本化学会近畿支部  
優秀学生賞  
物質工学科5年  
**木下 明日香**



公益社団法人 日本化学会近畿支部  
優秀学生賞  
物質工学科5年  
**宮地 優彰**



日本分析化学会中部支部  
優秀高専学生賞  
物質工学科5年  
**小谷 涼**



全国高専土木工学会  
近藤賞  
環境都市工学科5年  
**山貢 緋称**

## 活躍する仲間

### 平成29年度 キャンパスプロジェクト概要一覧

学年	学 科	代表学生	テ ー マ	連絡教員
1	電子情報工学科	鈴木 智也	ドローンつくり隊	挽野 真一(一般科目教室)
3	環境都市工学科	瀧 蒼馬	校内清掃プロジェクト	相場 大佑(一般科目教室)
1	生産システム工学専攻	前田 勝紀	太陽光発電のリアルタイム表示	小松 貴大(電子情報工学科)
5	電気電子工学科	田中 涼太	テクニカル・イングリッシュ (工業英語)を身近に!	原口 治(一般科目教室)
3	物質工学科	中島 和	校内美化のための銀杏拾い、 継続して行えるプロジェクト	加藤 敏(物質工学科)
5	環境都市工学科	加藤 颯	ロボスタをつくろう!	江本 晃美(環境都市工学科)
3	電気電子工学科	出藏 祐志	駐輪場をつくろう	辻野 和彦(環境都市工学科)

### 平成29年度福井高専キャンパスプロジェクト概要報告

#### ドローンを作ってみて。

電子情報工学科1年 鈴木 智也

私たちは、ドローンと呼ばれる無人航空機の作成に取り組みました。私たちの活動目標は、既存のものを購入するのではなく、初めからドローンを作成し、校舎の点検などの実用的な利用ができる機体を製作すること。そして、安全に利用できる機体を製作することです。しかし、部品の到着が遅れてしまい報告会までにドローンを完成することができませんでした。そのかわり、メンバーで一つ一つの部品の役割などを確認し、より理解を深めることができました。今回のキャンパスプロジェクトでは、計画性の無さが、報告会までに完成できないという結果になりました。今後、ドローンが飛ばせるようになったら、目標でもある実用的な利用ができるように訓練し、より多くの人にドローンを見てもらい、ドローンについての理解を深めてほしいと思います。そして、キャンバスツアなどで高専をアピールすることに協力出来たら良いと思います。

#### 校内清掃プロジェクト

環境都市工学科3年 瀧 蒼馬

校内清掃プロジェクトでは、校内の清掃が行き届いていない箇所を「学生目線」で発見し、プロジェクトの一環として清掃してきました。活動内容は、自転車小屋の清掃、銀杏拾い、排水溝整備・清掃など1年を通して活動してきました。特に「銀杏拾い」は、このプロジェクトを始めるきっかけになったこともあり、潰れた銀杏の排除、道路の清掃など積極的に行ってきました。また、自転車小屋の清掃に関しては塵や埃、蜘蛛の巣を取り除いて綺麗にしたため、これまで以上に快適に利用できるようになりました。今回のプロジェクトを通して、先生や生徒から「銀杏」に関する質問や要望を多くいただきました。そこで次回のプロジェクトでは、「銀杏」にピントを合わせた活動をしていきたいと考えています。活動内容としては、銀杏の道路落下防止策を考え、実行していきたいと思います。最後に本プロジェクトを進めるにあたり、多くの方々から支援をいただきました。ここに感謝の意を表します。

## 活躍する仲間

### マトリックスLEDを用いたものづくり

電子情報工学科3年 兵 田 憲 信

今回行ったキャンパスプロジェクトでは、太陽光パネルの発電量を表示するための装置及び鯖江市から依頼されていた福井国体のカウントダウンボード制作を行った。鯖江市から依頼されていたカウントダウンボードは、福井国体開催までの残り日数をカウントするものである。残り日数や福井国体のキャラクター「はびりん」などを一枚の画像に合成するプログラムもだが、特にはんだ付けのミスなどからディスプレイと装置をつなぐ変換回路の作成に苦労した。一方、本来のキャンパスプロジェクトでは、校内でWi-Fiが利用できる場所でればどこでも表示することができるようになるため、校内のネットワークの制限を回避するように設計を行った。今回のキャンパスプロジェクトから、何かを「作りたい」と思う学生や、それを実行する学生が少ないと感じた。これらのものを通して高専内外多くの人に学生の活躍を知ってもらい、そして学生が自ら「作りたい」ものを作れるような環境が整えられることが必要であると感じた。

### スマホで工業英語学習

電気電子工学科5年 田 中 涼 太

私たちは、キャンパスプロジェクト研究として「工業英語学習Androidアプリ」の製作を行いました。工業英語学習のため、福井高専では工業英検の取得を推奨しています。その中で、私はこんな声を聞きました。曰く、「普段教科書を使って勉強する習慣がないから勉強が辛かった。だから落ちた。」とのことです。非常に嘆かわしいことですが、確かに教科書を使って勉強している友達の姿をあまり見たことがありません。「しかし、スマホならずっと触っている学生が多いです。」そこで私たちは、いつも触っているスマホで勉強できれば、集中して学習できるのではないかと考えました。

現在の進捗としては、一問一答形式で問題に答える機能、入っている単語を一覧にして見ることができる機能が完成しています。今は収録している単語が少ないため、まだまだ学習用アプリとしては使えませんが、簡単に単語を追加できる仕様にしたので、これからどんどん単語を追加していきたいと考えています。

### キャンパスプロジェクトを経験して

物質工学科3年 水 島 美 咲

今回私はキャンパスプロジェクトで銀杏拾いを計画し、実行しました。私ともう1人、物質工学科の友人が中心となって、他の友人達にも手伝って貰いながら、9月～11月に活動をしました。福井高専では秋になると、校内の銀杏の木が一斉に色づき、綺麗な黄色が目を引くようになります。しかしそれと同時に銀杏の実が地面に大量に落ち、車に躙かれたりして景観が悪くなると共に、異臭を放っていました。これを少しでもどうにかしたい、また、この銀杏の実を活かすことは出来ないかと思い、このプロジェクトを計画しました。道具の購入や初回の銀杏拾いまでの流れはいたってスムーズに進みました。しかし、ここで思わぬアクシデントが起こりました。なんと、銀杏拾いに使っていた熊手や竹箒などが無くなってしまったんです。これは、秋に福井高専で開催されたキャンパスマリサーチのために、清掃の人たちが片付けてしまったからです。一応、許可を取った場所に道具は置いておいたのですが、情報伝達不足を実感しました。その後、道具はなかなか見つからず、研修旅行や中間テストなども重なって、ほとんど活動を行えませんでした。つまり、今回のプロジェクトでは目標にまったく届かなかったことになります。しかし、ここで諦めるつもりはありません。プロジェクトの報告会でも、色々な先生にご指摘をいただきましたし、私たちも今回の反省を生かして、また銀杏拾いのプロジェクトを行いたいと思っています。今回は、物事を行う時の計画性の大切さ、物の管理能力について、情報伝達をしっかり行うこと、などなど、沢山の問題点および課題を発見することができました。これをネガティブに捉えるのではなく、経験として自分たちの中できっちり処理して、次に繋げていきたいです。



## 活躍する仲間

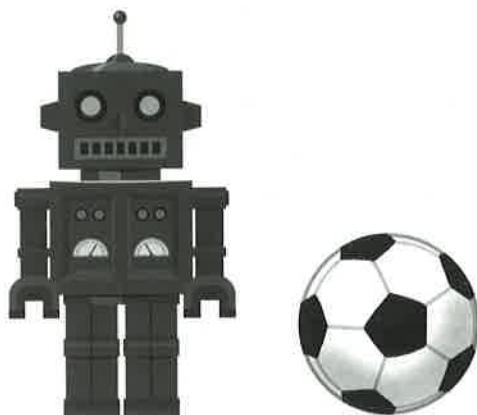
### 作業日誌 ロボスタ制作

電気電子工学科3年 山本 真嘉

私達が学内キャンパスプロジェクトとして行った「ロボスタを作ろう」は、3年生の電気電子工学科、機械工学科が授業として取り組むサッカーロボットの制作で用いるサッカーフィールドを新しく制作しようという目的で立ち上げました。プロジェクトのメンバーは、2年環境都市工学科が2人、3年電気電子工学科が3人、5年環境都市工学科が1人、そして環境都市工学科の江本先生という構成で、5年の先輩を中心にスタジアムのデザインから制作を進めていきました。

スタジアムは「スタイロフォーム」という発泡スチロール素材を使いました。これは建物の断熱材としてよく用いられている材料で、「ヒートカッター」という電熱線で設計通りの形に切り取って制作しました。

サッカーロボットをテスト走行する段階では、フィールドの壁に傷がつかないかと心配しましたが、動作に問題はなく、実際に使われるのが楽しみです。



### 駐輪場をつくろう!

環境都市工学科2年 井波 大地

今回のキャンパスプロジェクトで、私達野球部は駐輪場を作った。このプロジェクトの目的は、不足している校内の駐輪場を整備することである。近隣の高校との練習試合の際、相手校の部員が自転車で高専に来ることもあるが、野球場の近くに自転車を駐めてもらうこともできる。

駐輪場の制作で最も大変だったのは、地面を掘り下げるのことであった。表層には雑草が生えており比較的柔らかい土であったが、深くなるほど地盤が固くなりスコップが入りづらくなった。しかし、トレーニングの一環と考え部員全員で協力して作業を進め目標の深さまで掘り下げる事ができた。また、ひび割れが生じないよう鉄筋（メッシュ）を配置した。さらに流し込んだコンクリートは、コテを使って平らにならした。この作業は指導教員の辻野先生だけでなく、B科の先輩方や樋口先生にも協力していただき、約20台が並べられる駐輪場に仕上げることができた。

次年度、もしプロジェクトに申請する機会があれば、単管パイプ等を利用して屋根をつけたい。屋根ができれば、この駐輪場は雨天時のティーバッティング場としても活用できる。今後も環境整備をしっかりと行って、練習試合や大会に挑んでいきたい。本年度、キャンパスプロジェクトに採択頂きました。ありがとうございました。



## 研修旅行

## 研修旅行について

## 一生の思い出

3M 吉田有輝 3M 吉岡孝通

今回研修旅行で日本車輌、スバル、ANA、JAXAの工場見学行きました。どれも聞いたことがある企業であり、会社自体の概要は全くしらなかったのでとてもいい経験になりました。製造工程や製造物などの説明を聞き、より企業に興味を持ちました。また、多くのことを学んだ後にはディズニーシーで、子供に戻って閉園時間ぎりぎりまで園内を走り回るなど、クラスのメンバーで遊びまわりました。

しかし、楽しいことの裏には色々と大変なこともあります。この研修旅行は企業訪問が終わったら自由行動です。旅行前の二週間に渡る計画決めでは大変な思いをしたのを覚えています。その分自由行動の数日間でも様々な体験ができ充実したものになりました。

1日目はお昼からの解散でした。そのため、私達はお昼ご飯を取った後に1度行ってみたかった秋葉原に行きました。駅に着いた途端に景観がガラリと変わって面白かったです。その後、歌舞伎町にあるロボットレストランに行きました。私達の班員以外のお客さんが全員外国人で驚きましたがショーは素晴らしいものでした。翌日からは関東を転々としながらバギー体験、ラフティング、パラグライダーや体験をしました。どれも楽しかったです。

この研修旅行を通じて、さまざまな企業の理解が深まり、将来の自分に役立つ経験ができたのではないかと思いました。さらに、研修旅行中に、普段喋らないクラスの仲間とも話す機会があり、自分だけでなく、クラス全体の仲が深まり、有意義な時間が過ごせました。数日間の間でしたが大変疲れました。それでもその分の経験ができ一生の思い出になりました。



## 研修旅行について

3E 柴田光貴

今回の研修旅行ではパナソニックアプライアンス社、トヨタ九州、安川電機の三社で工場見学をさせていただきました。それぞれの工場で様々なものを見ることができ、とても勉強になりました。この中で私が一番感銘を受けたのは安川電機の工場です。その中でも医療用のロボットなどを作っている生産ラインが印象に残っています。今回訪問した安川電機の第二工場ではロボットの手を使わずに人の手でロボットの生産を行っていました。これは医療用などのロボットを作るためです。これが作られる環境は私が予想していたよりずっと厳しい基準がありました。製品が作られる環境については今回行った工場のすべてでしっかりと考えられていることがわかりました。社員の働きやすさを考えて福利厚生に力を入れていたり、安全第一を徹底したりしていました。

研修旅行を通して、OBの方のお話を聞いたり、実際に働く環境を見たりして、進路を決める際の参考にすることができました。実際に見ることで就職するならどのような感じになるのかをイメージすることができて、とても有意義な旅行になりました。



## 研修旅行

# 研修旅行について

### 平成29年度研修旅行を通して

3Ei 古賀斗

今回の研修旅行を通して、私は大学見学・企業見学と自主研修旅行から、様々なことを学び、色々な経験を得ることができました。最初に見学させて頂いた名古屋工業大学では、福井高専の電子情報工学科OBが研究室で何を研究しているか具体的に教えてください、大学へ進学を考えている自分にとって非常に有意義なものとなりました。企業見学では、6つの企業を見学させていただき、どの企業も個性的でとても印象に残ったのですが、その中でも特に感銘を受けた企業はteamLabでした。teamLabは、仮想現実とプロジェクトマッピングの技術を活かし、グラフィカルでハイセンスかつインタラクティブなプロジェクトを作り上げてきました。私が特に「斬新だな」と感じたのは、企画書が存在しないという点で、何かをする為に必要な企画書をあえて考えないことで、自由かつ独創的なものを生み出すことが可能になっていた点です。私も将来、企業に就いて働くことになると思うので、今回得た経験を参考にして、就職活動などを行っていきたいです。

自主研修旅行では、都会での生活の仕方のような常識的な力や、グループで計画した予定を遂行するというようなグループワーク力を身につけることができ良かったです。最後に、研修旅行全体を通して普段の学校生活から解放され、自由な時間を過ごすことができ、とても楽しむことができて良かったです。



### 研修旅行を振り返って

3C 栢川宗次郎

私たちの研修旅行の舞台は主に九州でした。1日目、滋賀の旭化成。2日目、サントリーに見学をさせていただきました。旭化成では、3グループに分かれそれぞれ違った工場を見学しました。サントリーでは、プレミアムモルツの製造過程を機械を用いて説明してくれました。ビールの原料から細かく厳選されていて、今まで何気無く見ていたビールのことを詳しく知ることができました。工場見学の他に吉本新喜劇、熊本城、ハウステンボスに行きました。お笑いの原初、建築技術、イルミネーションの美しさに感極りました。また、長崎でイルカウォッチングをしました。沢山のイルカを間近で見ることができ初めての体験をすることができました。4日目からは博多駅から各自が行きたい所に分かれて自主研修旅行を楽しみました。私たちの班は途中で計画が少し変わってしまうというハプニングもありましたが思い出深い旅行になりました。学校に帰ってからクラスのみんなが楽しかったと言っていて、いい思い出になっていたと思います。



## 研修旅行・校外研修

### 研修旅行について

#### 研修旅行について

3B 斎 藤 天 護

私達環境都市工学科3学年は研修旅行を通して様々な施設や企業を訪れました。

研修1日目は、阪神高速道路大和川線シールドトンネル工事へ行きトンネル工事に関する講義や作業現場を見学しました。作業現場の見学では、普段入ることのできないすべり台による避難設備や避難通路を体験させて頂き貴重な経験をしました。

研修2日目は、神戸市にある人と防災未来センターへ行きました。施設では現実味のある震災を追体験することができ、地震の怖さや地震後生活が一変してしまうことなどを知ることができました。

研修3日目は、埋め立て地の福岡市アイランドシティの青果市場であるベジフルスタジアムを訪れました。ここではせりの現場や品質管理など、福岡市の物流機能強化の背景を教わりました。

クラス研修最終日の4日目は、現在復興中の熊本城の見学という事で設けられていた復興見学ルートを散策しました。熊本地震の被害のまま、残った城の姿と復興に日々進んでいく今しか見ることの出来ない熊本城の様子を確認することができました。

研修旅行を通じて、どこの現場を見学しても働いている人全員がそれぞれその仕事へのやりがいや熱意を持っており真剣に作業しているのを見て、自分も数年後にはこのように打ち込める仕事に就きたいと感じました。残りの2年間はあっという間に過ぎていくと思います。その限られた時間をどのように大事に使うかきちんとと考えたいと思います。



### 校外研修について

#### 工場見学を通して

2M 山 岸 亮 太

今回の工場見学を通して、多くの新たな学びがありました。

特に、工場見学を通して強く印象に残ったことが2つあります。1つは、会社で働く際の仕事内容についてです。例えば、福井鉄錠株式会社では、広い部屋に機械が何十台も並んでいて、1人で数台の機械の整備を担当していました。さらに、そのすぐ隣の部屋では、機械のトラブルが発生し、整備員で解決できないときにそれを解決するための人が待機していました。また、株式会社UACJでは、高専出身の方に、「工場内でのニーズに合わせて機械を改良する仕事をしている」という話をうかがいました。これらのことから、工場での仕事には多くの種類があり、製品を製造するだけではなく、トラブルが発生した際に働く仕事もあるということがわかりました。

2つ目は、顧客のニーズに合わせて製造するために機械を作ったり、購入した機械を改良して使用していました。工場で使用される機械は、別の企業で作られている機械を購入するだけでなく、顧客のニーズを一番に考え、自社で改良し、より良い製品を作ろうとしていることがわかりました。



## 校外研修

# 校外研修について

## 校外研修について

2C 藤原岳斗

私たち2Cは、お酒を作っている工場の菊姫を見学しに行きました。菊姫ではお酒を作る過程について、見学させて頂きました。工場の人が1つ1つの工程を詳しく分かりやすく説明して下さったので、私たちもお酒の作る工程を理解する事ができました。見学が終わった後の質問時間では、質問を受けて下さった方が高専を卒業して就職した方だったのでお酒のことだけでなく、高専からどのように就職できるのかなど、高専を卒業した人だからこそできる的確なアドバイスも頂く事ができました。

菊姫の見学が終わった後、私たちは白山ろくテマパーク公園でお昼ご飯を食べることにしました。

そこはとても自然豊かでとても広かったので思いっきり走り回ったりして良い時間を過ごす事ができました。

白山の自然保護センターでは、動物や虫など白山の自然について展示や体験のできるコーナーがあり、みんな興味津々で白山の自然について学んでいました。センターの外には山や川などの自然が広がっており、ちょうど紅葉の時期ということもあったので、景色を楽しんだりすることができました。なかなか自然に触れる機会が無いので、とてもいい思い出になりました。

## 平成29年度 第2学年校外研修先一覧

研修日	学 科	研 修 先	引率者
11月1日(水)	機 械 工 学 科	株式会社UACJ	手 嶋 泰 伸 村 中 貴 幸
		福井鉄錠株式会社 加賀工場	
	電 気 電 子 工 学 科	北陸電力株式会社 三国太陽光発電所PR館	東 堀 章 弘 川 隼 世
		パナソニック株式会社 AIS社	
	電 子 情 報 工 学 科	オムロン京都太陽株式会社	山 田 哲 也 小 越 咲 子
	物 質 工 学 科	菊姫合資会社	岡 本 拓 夫 佐 々 和 洋
		白山自然保護センター 中宮展示館	
	環 境 都 市 工 学 科	公益財団法人鉄道総合技術研究所 風洞技術センター	伊 勢 光 野 々 村 善 民
		株式会社熊谷組 北陸支店	

## 遠足について

### 金沢遠足で定休日

F2 加藤 翼

F2クラスの遠足は金沢を訪れた。天候にも恵まれ、私の班はまず兼六園を観光し、そこで和菓子を食べた。兼六園の木々と池に囲まれることで自分は胸が軽くなる思いがした。

遠足で最も大事なことは、なんといっても昼食だろう。現地でしか食べることのできない料理を食べられるからである。「金沢市伝説」と呼ばれている餃子専門店に向かうこととした。バスに乗車する必要があったため、私達は時間を気にしながら自当ての店に到着した。しかし、人気店のはずなのに店の前には車が一台も停まっていた。お察しの通り、この日は定休日だったのである。その時、私は事前に調べておけばよかったと後悔した。定休日を調べることは当たり前のことだが、自分はそれが出来ていなかった。おかげで五人分の往復料金が無駄になり、私は班のメンバーから注意されてしまった。こういった事件は旅の醍醐味の一つなのかもしれないが、私はこれから旅をするときには下調べをしようと思った。金沢遠足は、私にとって一生忘れられない思い出になった。



### あっという間な遠足

F5 吉森 洋子

F5の遠足はなぜか山登りに決定されました。しかし、雨により福井市自然博物館に変更されました。福井駅に集合し、みんなで歩いて行きました。途中、中学生のマラソン大会を見かけ懐かしく感じました。

博物館に着くと、小さな子どもたちもいて、とても癒されました。入館料は100円でしたが、先生が嬉しそうに「先生のコネで50円になったぞ！」と言っていたが、実際は団体割でした。

私たちは2グループに分かれて常設展示室と特別に保管庫も見せて頂けました。博物館の裏側を見れ、高専らしい勉強ができたと思います。熊とアザラシの毛は意外に硬くて驚きました。数ミリしかない貝殻は少しかわいかったです。たくさんのお話を聞き、展示されていた動物は今にも動き出しそうで、一つ一つにわくわくしました。虫の被り物を被って写真を撮ったのは少し照れ臭かったです。パズルをみんなで時間を計って勝負していたのはとても盛り上がり、小さな子どもたちも集まって来たほどでした。

午前で終わってしまった短い遠足でしたが、心に残る充実した遠足になりました。



## 中学生の皆さんへ・退職にあたって

中学校だより

## 日本一の学校を目指して

本校は、福井市の中心部より北へ約7km、県下最大の九頭竜川の北部河岸に位置している。昭和27年7月、吉田郡から福井市に編入、森田町がそのまま現在の校区となった。本校の生徒数は、平成29年4月1日現在318人である。近年、北陸新幹線が通る予定で、この地区に居住する家庭が多くなっており、生徒数も増加している。

本校の教育目標「他と協働して、学び考え行動する生徒の育成」を目指して、「めあてをもつ生徒」「自分の行動に責任を持ち最後まであきらめずにやり抜く生徒」「互いに認め合い、励まし合い、鍛えあう生徒」「互いの人格を認め合い、心の交流をはかる生徒」を育成することに力を入れている。そして、生徒も教員も、「日本一の学校」をめざして、様々な取組を行っている。中でも一番の取組は、いつもどこでも誰にでも、「明るく元気に爽やかに」できる「あいさつ」である。また、部活動にも熱心に取り組んでいる。この校区では、特に剣道が前回の福井国体開催場であったこともあり、地区の中でとて

も盛んで、剣道部は今年度も北信越大会に出場した。女子ハンドボール部も同様に出場した。

学校行事では、この地域の特色を生かした剣道を全校で学ぶ「剣道祭」を行っている。

主に保健体育科の学習で学び、全校一斉に学年クラス別に大会を行い、剣道での交流を深めている。剣道のお手本を地域の方々に披露していただいている。

このように、様々な活動を通して生徒が自ら学び考えて行動できるように、「日本一をめざして」今後も具体的に支援しつつ、生徒を育成していきたいと考えている。

福井市森田中学校



## 退職にあたって

### 退職にあたって



電子情報工学科

野 村 保 之

平成6年4月に電子情報工学科に赴任致しまして24年、3月で定年を迎えることとなりました。これまでの研究一筋の職場から、学生に講義をする職場への変化に懸命に講義ノートを作成したのが、今更のように思い出されます。さて、明けて平成7年は1月の阪神・淡路大震災、3月の地下鉄サリン事件といった未曾有の出来事に驚愕致しました。また、初めての経験となる大雪の中での通勤は今や慣れっことなり、福井の方々との交流を通じて様々なことを学びとらせて戴きました。

高専では、なれない部活動の指導なども経験し、また、教務主事補を通算で5年間務めさせて戴きました。その間、1年生の「ものづくり科学」の立ち

上げに携わり、その後の評価は別にして、大変苦労した思い出となっています。やっと担任を持つことが出来たと思えば、1年後に高専間の交流人事で豊田高専に1年間転任となり、復帰後5年生の担任を継続致しました。その後、平成23年にⅠ型糖尿病を発症致しまして、入退院を繰り返すなど、体調の悪化により皆様方には大変なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。現在は症状も安定しており、管理栄養士からもお墨付きを貰える状態です。

さて、教育から離れ、研究面では従来の保存系の力オスに加え、名古屋大学情報学研究科の杉山雄規教授の知遇を受けまして、交通流の問題に取り組んでおります。単なる研究バカのような人間ですが、これまで教員として勤め上げてこられたのも、偏に学生諸君と教職員の方々のご理解の賜物と感謝しております。

最後になりましたが、今後の皆様のご活躍と福井高専の益々の発展を祈願致します。

## 退職にあたって



### 退職にあたって

一般科目教室（自然科学系）

坪川 武弘

福井高専には四半世紀以上勤務させて頂きました。日野川の野鳥や構内の木々を見ながら緊張感を高めつつの通勤の日々でした。これまで多くの教職員、学生の皆さんに本当にお世話になりました。心より感謝とお礼を申し上げます。

勤め始めた時期は高専創設期の教職員の方が多数現役で頑張っておられました。その頃は学生指導の方針や学校運営の方向など、先輩方との考え方の違いに私などは戸惑っていました。高専の基礎を築き上げてきたのは自分たちだというほっこりと自信に草創期を経験された方々は満ちておられました。次の時代の歴史を作っていく気概というものを強く感じました。そうこうしているうちに自分もいつの間にか年長者になり、新しい挑戦を避ける保守的なかさぶたのような存在になってしまいました。

本校に勤め始めた際に、当時教育を志す人の間で

有名であったフランスの詩人アラゴンの、「ストラスブール大学の歌」の精神を大切に思っていました。その一節には「学ぶとは誠実を胸に刻むこと」「教えるとは（共に）希望を語ること」とありました。当時の思い上がりが恥ずかしく感じられますが、今読んでみるとどうでしょう、現在にも通用するでしょうか。福井高専もそうですが、教育機関には次世代の育成という本質的に重要な使命があります。一人の教員としてその一端に関わったことはとても幸運で誇れることと感じています。アラゴンの詩は第二次大戦の際に大学が戦禍に巻き込まれその機能を喪失せんとするときに書かれました。どういう時にも理想を捨てるなというメッセージと読みました。いつの時代も教育機関があれこれ左右されないできちんと機能していくにはそこに関わる教職員と学生の努力と誠実さが必要とされるのでしょう。

この4月からは、日野川の野鳥のコロニーをのんびりと眺めながら、高専に足を運ばせて頂きます。今後の福井高専の一層の発展と学生・教職員の皆さんのご健康とご活躍を祈念しております。ありがとうございました。



### 退職にあたって

事務部長

木村 義徳

平成28年4月に福井高専に着任し、北野町の職員宿舎から、西山公園を横目に日野川を渡って通勤してきた日々も残すところ僅かとなりました。あつという間の2年であったと感じています。教職員の皆様には、種々ご指導、ご協力をいただき、特に大きな問題もなく退職を迎えることに心からお礼申し上げます。

2年間を振り返りますと、ロボコン全国大会で応援できしたこと、高専体育大会の当番校として運営等に参画したことやオープンキャンパスで学生、教職員が一体となって学校のアピールをしている姿が印象に残っています。

また、台風による施設等の被害や大雪による除雪

への対応もありました。特に今年の大雪では、長期間の休業により学校行事に影響が出ましたが、学力選抜検査を無事行うことができて一安心しました。精力的に学校内の除雪をしてくれた教職員に感謝しています。

生活においては、永平寺や東尋坊、恐竜博物館など名所を回り、美味しいお酒もたくさんいただきましたし、セイコガニもとても美味でした。また、メガネフレームの生産量が全国の9割以上を占めるなど、福井に来て初めて知ったことも多くいろいろ勉強になりました。

福井において公私ともに充実した日々を送ることができたことに感謝しています。

4月からは山梨を中心とした生活となりますが、しばらくはゆっくりしてから、新たな人生を送りたいと思っています。

最後になりますが、福井高専の益々のご発展と教職員の皆様のご健勝を祈念いたします。

2年間、お世話になりました。



## 平成30年度教育後援会総会

次のとおり総会を開催いたしますので保護者の方  
はご出席下さい。

期日 平成30年4月5日（木） 正午から

場所 本校 第一体育館

### 会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 校長あいさつ
4. 報告事項  
　　学校状況について
5. 審議事項  
　　①平成29年度事業報告案及び決算案について  
　　②平成30年度役員選出について  
　　③平成30年度事業計画案及び予算案について  
　　④その他
6. 閉会



## 平成29年度学校行事



明るい選挙出前塾



カウントダウンボード製作校長表敬



性教育講演



キャンパスプロジェクト発表会



税と社会保障講演



スペースバルーン報告会